



5年度決算の分析

良好で健全な財政運営

収入 68億 835万円
支出 64億9340万円
繰越し 3億1495万円

9月の定例議会で平成5年度決算が承認されました。過去にない超大型決算となった5年度、町ではどのような事業を展開したのかわかりやすく紹介します。みなさんも是非読んでみてください。

9万円が6年度へ繰越して使える計算になります。

将来の財政状況を検討

計年度独立の原則があるため、むやみに資金を残すことができません。ただ、予定以上の収入や予定していた工事が安く完成した時など、残った資金をより有効的に使う場合に限り、来年度に繰越して使うことができます。

町の決算

収入が68億、支出が65億

一年間分の家計簿の収入と支出をまとめ、たものが決算と言えます。もちろん収入が支出より多くなつた方が来年度へ繰越して使えるお金が増えるので、すから良い決算ですね。

完成したばかりのテニスコートで汗を流すプレイヤー



決算とは

収入と支出をまとめたもの

はじめに決算の意味を簡単に説明します。みなさんの家庭に置き換えてみると

補助金などを収入として、道路を舗装したり、公園を造つたり、町民のみなさんがより一層快適に暮らせるための施策をその年の収入で行うといった大原則（会

しかし、町のような公共団体は、みなさんに納めていただいた税金と国や県の

当町の場合、平成5年度一般会計の決算は、収入が68億835万円、支出が64億9340万円、差引3億1495万円が平成6年度へ繰越しされます。

金額が大きすぎてピンとこないかもしれないので、平成6年3月31日現在の町の世帯数で割ると、一年間（5年度）で1世帯当り202万円の収入をし、193万円の支出をして、差引

9万円が6年度へ繰越して使える計算になります。

性質別経費

決算を分析することは、財政を運営していく上でとても大切です。たとえばみなさんの家庭で、電話料金が先月に比べ、今月はとても高かったから来月は、長電話を控えようかな、という場合がありますが、こういった例も決算の分析にとってもよく似ています。

町では電話料金は物件費に分類され、物件費の中には、毎月広報紙などを印刷したり、会議用の資料を作るための紙代が含まれています。ちなみに物件費の5年度決算額は4億3655万円で、うち毎月発行する広報紙の印刷代として909万円支払いました。

